

水抜きは、0 °C以下の環境下では排水中に凍結する
おそれがあるため、0 °Cを超える環境下で実施してください。

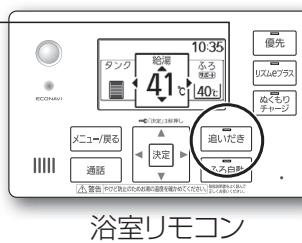
① ふろ配管の水抜き

浴そうを空にしてふろ配管に残った水を抜きます。

1 浴そうを空にする

2 追いだき を押す

- ランプが点灯します。(赤)
- ポンプが作動し、配管に残っている水を浴そうに排水します。

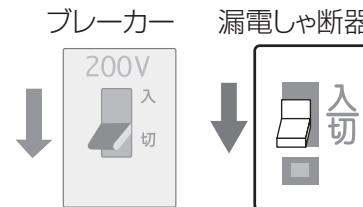


3 循環口から水が出なくなったら

- 再度 追いだき を押し、停止する
(ランプ消灯)

② 電源を切る

1 配線用しゃ断器 (ブレーカー)と 漏電しゃ断器を「切」 にする



2 配管などに残った水を抜く

- 9 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を左に回してゆるめ、ストレーナーは、はずす。屋内用の場合、水抜き栓(屋内用のみ)1か所は、はずす。
- 10 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)をゆるめる。(抜かないでください)
 - 配管途中に水抜きバルブ*が取り付けられているときは、すべて開いてください。
※水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。

3 排水口や排水配管から水が出なくなったら

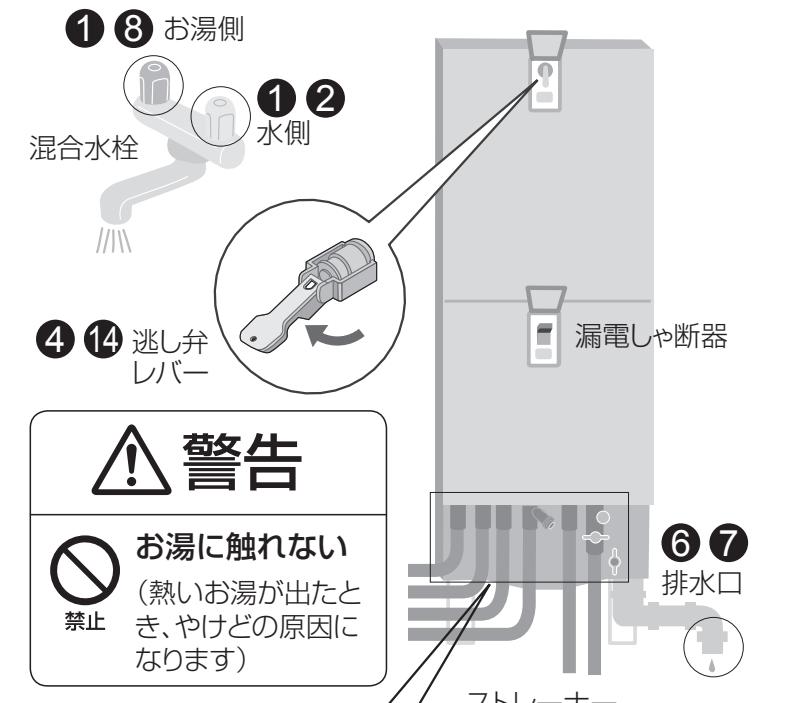
- 11 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける。
(イラストのつまみの向きは一例です)
- 12 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)を閉じる。
 - 配管途中の水抜きバルブを開いたときは閉じてください。
- 13 排水栓を最後に閉じる。(故障の防止)
- 14 逃し弁レバーを下げる。
 - 凍結予防ヒーターを取り付けている場合は、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いてください。

③ 貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする

■脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。

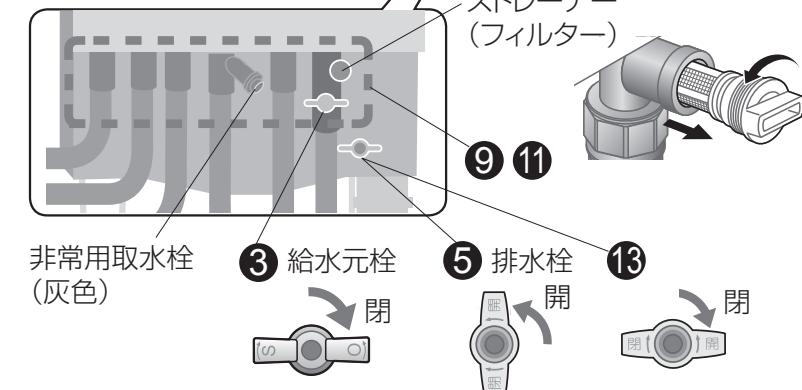
1 貯湯ユニット内のお湯をすべて排水する

- 1 混合水栓のお湯側と水側を開き、お湯が出なくなるまで出す。必ず水を混ぜてぬるめのお湯にしてから排水してください。(タンク内を水にする)
- 2 混合水栓の水側を閉じる。
- 3 給水元栓*を閉じる。
- 4 逃し弁レバーを上げる。
- 5 排水栓を開く。排水中は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)
- 6 排水配管から、水が流れ出なくなったことを確認する。(約80分かかります)
- 7 少量の残り水があとから出ないことを確認するため、さらに約1時間お待ちください。
- 8 混合水栓のお湯側を閉じる。
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



2 配管などに残った水を抜く

- 9 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を左に回してゆるめ、ストレーナーは、はずす。屋内用の場合、水抜き栓(屋内用のみ)1か所は、はずす。
- 10 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)をゆるめる。(抜かないでください)
 - 配管途中に水抜きバルブ*が取り付けられているときは、すべて開いてください。
※水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。



3 排水口や排水配管から水が出なくなったら

- 11 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける。
(イラストのつまみの向きは一例です)
- 12 ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)を閉じる。
 - 配管途中の水抜きバルブを開いたときは閉じてください。
- 13 排水栓を最後に閉じる。(故障の防止)
- 14 逃し弁レバーを下げる。
 - 凍結予防ヒーターを取り付けている場合は、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いてください。



再びご使用になるときは、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」に従ってください。